

災害時の消防活動 車両活用協定結ぶ

天童市と生コン2団体

天童市と山形中央生コン
クリート協同組合（渡辺英



協定を結んだ（左から）渡辺
英一理事長、山本信治市長、
佐藤隆彦会長 〓天童市役所

一理事長）と県コンクリート圧送協会（佐藤隆彦会長）は8日、災害時の消防活動応援協定を結んだ。両団体の特殊車両を消防用水の確保や送水、排水などに活用する。協定締結は山形市に続き2例目。

多関節の長いブームを備えた圧送車は給水と吸水の両方が可能。大規模火災時にミキサ車で水を運び、圧送車がブームを伸ばして離れた貯水槽に給水。消防車による放水を安定させることができる。圧送車は冠水場所の排水にも活用できる。

同協同組合の加盟11社はミキサ車105台、圧送協会の加盟13社は圧送車55台を所有。市の要請を受け車両を出動させる。

市役所で締結式が行われ、山本信治市長が「連携して災害対応に当たる取り組みは先進的で心強い」と感謝。渡辺理事長、佐藤会長は「車両の特性を生かし万一の際に協力していく」などと語った。